

西原村議会だより【ゆうすい】

Yûsui

第125号 令和4年5月12日発行



NISHIHARA VILLAGE GIKAI DAYORI

No.125

2022.5.12

CONTENTS

- ◆ 3月定例会／P2～6
 - ・ 令和4年度一般会計当初予算・質疑応答
 - ・ 令和3年度一般会計補正予算・質疑応答
 - ・ 令和4年度各特別会計当初予算
 - ・ 特別会計Q&A
- ◆ 一般質問／P7
 - ・ 集落の防犯灯増設を村費で出来ないか
 - ・ 社会福祉協議会(のぎく荘)増改築の計画は
- ◆ 《追跡》あんときの質問は、
どきやんなった?!／P8～9
- ◆ 委員会報告／P10
- ◆ よつていきなっせ／P11
 - ・ 未来に向かって西原村のチャンス!!
- ◆ 地域おこし協力隊・編集後記／P12



明るく健やかに!!

元気に育て西原の宝
にしはら保育園入園式

新型コロナウイルス感染症やロシア・ウクライナ情勢の影響で、
経済的に暗いニュースばかりであるが、菊陽町にTSMCの工場が建設中。

当村も関連企業の誘致や移住定住促進事業を推し進め、
村民・執行部・議会が一丸となって村の活性化に努める!!

令和4年度当初予算 一般会計予算58億4,761万円成立 《前年度比7億9,982万円増(15.8%増)》

**3月
定例会**

● **主な歳出** ●

庁舎空調設備改修工事
1億1,411万円

橋梁補修工事
2億2,366万円

消防小型ポンプ付き積載車4台
2,119万円



2分団5班
3分団3班
4分団3班
7分団1班

小中学校トイレ洋式化工事
2,467万円



トレーニングセンター解体工事
5,026万円



構造改善センター天井他改修工事
《トイレ全面改修含む》
5,331万円



一時預かり事業委託料
358万円

一時預かり事業を子育て広場に委託
準備が出来次第、開始されます。



ホームページリニューアル
委託料
1,298万円



3月10日から18日までの9日間の会期で開催された。
令和4年度一般会計予算・特別会計予算及び令和3年度補正予算や指定管理者の指定など
25件の議案審議がなされ全議案が可決された。
一般質問は16日に1名の議員が行った。

令和4年度一般会計予算 質疑応答

【問】山西団地・第2河原団地において携帯電話が繋がりにくいとのこと。ひとり暮らしも多く、もしもの緊急時に連絡がでないが。

【総務課長】実際の受信状況を調査し対応させて頂く。



小森団地に即時設置された中継アンテナ

【問】村有のクヌギは売却の適正樹齢林になったのでは？売却はしないのか。

【総務課長】村内の椎茸農家さんからの要望は無いが、県椎茸組合等で需要があれば今後、検討していく。

【問】有害鳥獣の捕獲状況は。住宅地でのイノシシの出没が増えていると思うが。



村有クヌギ林

【産業課長】被害状況は前年と変わらないが、農家ハンターが増えた。また、住宅地でのイノシシの目撃情報はあるが、高遊地域は銃猟禁止区域であり、猟銃による駆除が出来ないので、追い払いで対応している。

【問】玉田川浚渫工事費の緊急浚渫事業債はいつまで続くのか。

【副村長】防災インフラの推進のため、緊急自然災害防止対策事業債として創設され、当初2年間とされたが、現在、5年間の経過措置が講じられている。

【問】ホームページリニューアル業務委託料の内容は。

【企画商工課長】前回のリニューアルから6年以上経過し、扱い

にくい部分があったので総務省が推進する高齢者や障害を持つている方が問題無く情報が得られるシステムに変更していく。

【問】総合体育館のトレーニングルームは指導者無しで使えるのか。

【教育課長】総合体育館は役場で管理するが、トレーニングルームに関しては運動指導士に委託する。



総合体育館トレーニングルーム

【問】総合体育館の2階から1階への緊急避難滑り台が設置してあり、チェーン1つしか付いていない。子どもが誤って越したら危ないのではないか。

【企画商工課長】今のところ黄色のチェーンを掛けているが、現在、より良い安全対策を検討している。

【問】種苗法の改正により今後、村内の甘藷農家はどの様に対応すればよいのか。

【産業課長】改正の内容は苗の自家増殖の見直しで、苗を買って植える分は問題ないが、村内において増殖して苗を栽培する場合には育成者権者の許可がいるものである。紅はるかや農研機構、シルクスイートはカネコ種苗が育成者権者である。



種苗法が適用される甘藷の苗木

【問】村内両小学校と中学校のトイレ洋式化改修は全て年度内に行うのか。
【教育課長】各学校とも数が多いので2年間の継続で行う。



洋式化された中学校トイレ

【問】トイレの洋式化にあたり生理貧困対策として中学校には手洗い場に生理用品を置いて頂いた。
小学校での対策は。
【教育課長】学校の養護教諭・校長あたりと相談しながら設置場所に配慮していく。



中学校生理貧困対策

【問】産交バス運行に対し補助金を出しているが利用状況は。また、TSMC進出による人口増が予測されるが、バス利用者に対する補助金交付の考えは。
【総務課長】1年間で4路線での利用者は1万95人の利用である。
【村長】補助金交付に対して検討する余地はあるが、今のところ補助金交付をしても利用者が増えるとは思わない。



補助金で運営されている産交バス

【問】住宅管理補助業務委託で村営住宅を管理しているが、小森団地からいろいろ苦情を聞く。管理会社の怠慢では。
【総務課長】今後、新たな業者選定にあたり十分指摘の点を念頭に入れながら検討していく。
【問】本村においてマイナンバーカードの交付状況は如何か。また、このカードで総合体育館の利用者カードとして使えないか。



マイナンバーカード

【問】河原地区定住促進住宅地造成用地の進捗状況は。
【企画商工課長】面積1,416㎡を購入予定、測量して分譲の計画を策定後、今のところ3区画分と考えている。

【住民福祉課長】3月時点で交付率は32.92%交付済である。
【企画商工課長】総合体育館の利用に対しては今後検討していく。

【問】地域おこし協力隊への助成金の活用方法は。
【企画商工課長】住宅の借上げ料・車両借上げ料・燃料費・通信費等である。



地域おこし協力隊が管理する白糸の滝 交流館「糸舞季(しぶき)」

【問】農業次世代人材投資資金とは何か。

【産業課長】50歳未満の方が新規就農する場合、個人であれば1年間に150万円×5年間。夫婦であれば225万円×5年間交付される制度である。

【問】定住促進事業補助金制度の計画説明を。

【企画商工課長】河原校区に39歳以下の移住者が新築及び新築の売却住宅の購入に対して、3年間で100万円を交付したいと考えている。

令和3年度補正予算 質疑応答

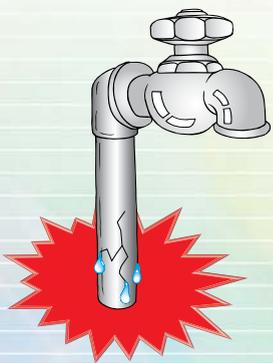
一般会計 補正予算

【問】地域水道施設復旧事業交付金1,796万円。

その内訳と、震災からの組合水道復旧は、まだ残っているのか。

【復興建設課長】小森水道組合が、事業費2,152万7,000円に対して、村営水道に合併ということと、交付率が5分の4、補助金交付額が1,722万1,000円となっている。

次に、多々良水道組合が、事業費147万8,000円に対し、交付率が2分の1、補助金交付額が73万9,000円となっている。今のところ全ての組合が復旧完了と聞いている。



【問】がけ崩れ対策費の復興基金3,900万円減額となっている。基金はいつまでであるのか。

【復興建設課長】令和元年度末に受付が既に終わっている。県から令和8年の12月末までに全て

の事業を終わらせるようお願いがあつている。



【問】福祉タクシー料金助成費が200万円ほど減額されているが、免許返納者に対して村として援助はあるのか。

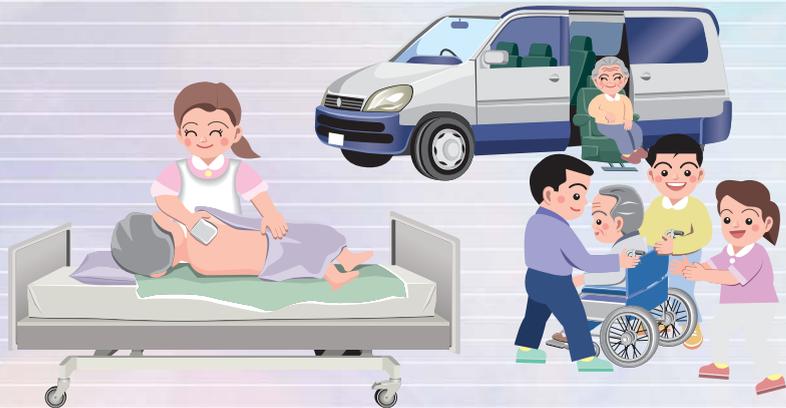
【住民福祉課長】免許返納される方は、申請が年度途中になるので、福祉タクシー券を月毎に規定している発行枚数を交付している。(初回申請年度に限り利用券20枚を追加交付される。)



介護保険特別会計 補正予算

【問】介護サービス等諸費の大幅な減額がある、要因は何か。

【保健衛生課長】新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、サービス利用が減ったこと。認定者数が減っていること。今年度の下期計画の予算上で、若干大きめに見ていたこと。以上の3点が主な要因であると思う。



工業用水道事業会計 補正予算

【問】新たに企業誘致したいという話も出てきている。工業用水について余力は、どれほどあるのか。

【復興建設課長】現在のところ、日量約900³mが契約となっているので、余力が300³mある。ただ、企業によっては1日の量が超過するところもあるので、余力としては200³mぐらいではないかと思っている。



水道配水池

令和4年度各特別会計予算

項目	特別会計予算額	増減割合
国民健康保険	9億5,114万円	0.1%増
介護保険	7億8,147万円	3.8%増
後期高齢者医療	1億9,691万円	16.4%増
中央簡易水道事業	9,524万円	5.8%減
工業用水道事業	2,622万円	7.8%増

特別会計

【質疑応答】

【問】一般被保険者の保険税が、昨年と比べて今年度が増えている原因は。

【住民福祉課長】コロナ禍であるが被保険者の所得がここ3年ほどで若干上昇している事が主な要因である。



【問】県支出金、県補助金の包括的支援事業任意事業費交付金と包括的支援事業費の社会保障充実分の内容は。

【保健衛生課長】認知症施策の推進の部分、在宅医療、介護連携の推進に係る部分、地域ケア会議の実施に係る部分、それと生活支援コーディネーターの配置に係る部分に対してこの社会保障充実分の補助金と言う形になっている。

【問】本村もTSMC関連企業の進出による人口増加が予想されるが、簡易水道の1日の配水能力は。

【復興建設課長】総配水量が1,951m³位で、大体2,000人分位は、余力はあると思う。



General Questions

発言が「～である。」調で記載していますが、質問・答弁は丁寧語で発言されています。

上野 正博 議員

一般質問

集落の防犯灯増設について

【上野】熊本地震から6年を迎え、創造的復興で素晴らしい住宅環境整備ができた。しかし、夜間になると暗く寂しい状況になる。通学路の防犯灯は、集落内は集落で設置することになっていくが、これを村で設置できないか。

【村長】震災による被災住宅の解体等により住宅が減少しているため夜間の住宅の明かりがなくなり、集落内が暗い状況にあるというふうには理解している。現在、村が設置した防犯灯が500ヶ所あり、全集落全ての防犯灯設置及び維持管理に対応する事は、予算的に厳しい状況にある。防犯灯設置方針である事を基本にしていきたい。

【上野】街灯が地震で倒壊したり、電柱の移動でなくなったりしている。復興の観点から村が設置すべきではないか。防犯灯も集落内に設置されている地域



通学路の防犯灯

もあり矛盾している。通学路の安全確保には集落の内外を問わず又県道熊本高森線は本村のメイン道路であり設置を願いたい。

【村長】今までの集落内の県道については、各集落で設置しており公平性から見ても厳しい。県道といえども集落内は対象外となる。【上野】本村の人口が減少しているなか、住みやすい安全な村づくりを行ない移住定住の促進にもつながるのではないか。

社会福祉協議会(のぎく荘)増改築について

【上野】我が国は少子高齢化が進み本村の高齢化率は31.3%となっている。やがて団塊の世代が後期高齢者となり「のぎく荘」にお世話になると思うが、今の施設の規模では手狭で危機的状況にある。建設検討委員会の内容はどんなものか。

【村長】のぎく荘は平成5年建設され30年近くになる。老朽化により検討委員会において拡張改修を行う事と決定、各種スペース等の洗い出しの集約を終えたところで具体的な計画協議までは至っていないが、4年度で図面を作成し基本計画を進め、早い段階での工事着手を考えている。【上野】事業計画されるのであれば予算はどれくらいかかるのか、財源はどうされるのか、預金に余裕があれば取り崩しもやむを得ないのではないか。

【村長】どれくらいかかるかは内



「のぎく荘」増築候補地

容次第で変わってくる。デイサービスとか機能訓練室、福祉避難所としての役割、地域包括支援センターを移転して集約するのかわるんな角度から検討が必要である。公共施設であるので補助がないため、基金の利用を考えている。

【上野】施設周りの候補地を買収すれば駐車場不足も解消する。早く本腰を入れて取り組んでもらいたい。

集落の防犯灯増設を村費で出来ないか

村 長 / 全集落全ての防犯灯設置及び維持管理に対応する事は、予算的に厳しい。防犯灯設置方針を基本にしていきたい。

社会福祉協議会(のぎく荘)増改築の計画は

村 長 / 4年度で図面を作成し基本計画を進め早い段階で工事着手を考えている。



どきやんなった?!



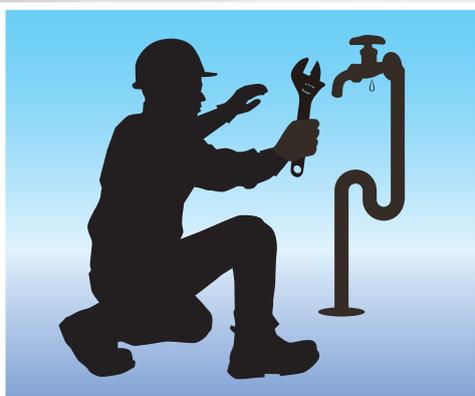
村営水道 漏水により年間1,500万円の漏水がある漏水対策はどうなったか?

西原村の年間総配水量(配水池等から送り出された水量)に対して年間有収水量(水道料金として収入に結びついた水量)の有収率は、平成29年度77.37%、平成30年度81.27%、令和元年度85.67%、毎年上昇傾向であり、令和2年度では91.25%を記録しており、無効水量(漏水等)は減少している。

漏水の対策としては、平成29年度8件、平成30年度6件、令和元年度9件、令和2年度23件とその都度、道から水が湧き出ている場合に調査修繕等対応している。

しかし、外からは見えなくても、老朽などにより地中の水道管が破損して漏水を起こしている場合もあり、その対策までには至っていない。

今後は組合との統合予定があり、統合後、旧組合の管路も含め、管路更新計画等を行う必要性があると考えている。布設年度が古く、漏水のリスクの高い管路等に更新優先順位をつけ、計画的に予算を立て、有収率向上を目指して漏水の根本的な解消に努めていきたいと考えている。



新大切畑ダムの埋め立て地利用と完成時期は?

(大切畑ダム事務所からの回答)

現在、関係機関等と検討を行っているが、現段階で何が出来るかと決定していないのが現状である。今後も敷地の有効活用に向け関係機関等と意見交

換を行っていく予定。

また、完成時期については堤体工事の遅れから、ダム本体と同様に令和7年度中の完成を目指して進める予定である。

河原小学校複式学級解消についての取り組みと両小学校の生徒数の偏りについての対策は?

4月1日現在で通常学級が53名で、2・3年生が複式学級。次年度も同じ組み合わせが考えられる。

【行政による取り組みとして】

- ・学校HPに「河原小学校に来ませんか」を紹介している。
- ・保育園に河原小学校の現状を伝え「河原小入学への案内」を行った。
- ※2年前までは保護者会に参加して説明をしていたがコロナで2年間中止している。
- ・子育て広場に出かけ、少人数の保護者に対して紹介を行った。
- ・特認校制度に同意した家庭に補助金の支給を実施。
- ・現在スクールバスの運行中。(山西校区より河原小への運行)

【学校による取り組みとして】

- ・小規模校ならではの取り組みの実施(あいさつ運動、ボランティア活動、運動会)
- ・探求学習(非常勤講師の招へい)
- ・教育課程実践(協力校に認定。教職員の増員)
- ・ICT教育優良校に認定(文部科学省)

震災後更地になった土地の利用を求める空き地バンクの現状は?

空き地の状況調査やシステムの改修を進めている。



あんどきの質問は

NISHIHARA VILLAGE CONGRESSIONAL QUESTIONS

学校での生理用品の配布について

各学校での取り組みとして山西小学校及び河原小学校は、これまで保健室に置いていたが現在は高学年のトイレに設置している。西原中学校は保健室とトイレに設置している。これまでは試供品や支援物資を活用していたが、今後においては消耗品として購入予定。

工場誘致できるよう土地の準備は？

工業団地造成概略設計を4月末に発注し、その後各種法手続き等、詳細測量・設計・調査業務を行い造成工事を行えるよう順次進めて行く予定。

有害鳥獣駆除!! アナグマ対策の現状は？

従来の被害報告を参考に令和3年度当初予算でアナグマ20頭分の捕獲補助金を計上し、アナグマの捕獲許可を発出した。令和3年4月から10月までの捕獲期間中にアナグマ52頭、タヌキ2頭の捕獲実績となった。令和4年度当初予算では令和3年度捕獲実績を基にアナグマ、タヌキの捕獲補助金60頭分を予算計上した。



地震のすさまじさを後世に残す映像作成の進行状況は？

各集落からの写真・映像を集める一方で、新聞・報道から当時の記事や映像を入手できないかということで、各社に問い合わせを行っている。



益城・嘉島・西原環境衛生施設組合報告

益城・嘉島・西原環境衛生施設組合議員／宮田 勝則

令和4年第1回定例会が令和4年2月21日に開催され、令和4年度一般会計予算と令和3年一般会計補正予算などを審議し全て全会一致で可決成立した。

令和4年度一般会計予算は総額5億2,273万円の前年度より1,606万円の減額であった。

歳入では町村負担金3億5,744万円(5,185万円減)で本村負担額は6,932万円となり村民一人当たり10,300円程度となっている。基金繰入で財政調整基金より4,000万円(3,000万円増)計上し、町村負担を軽減した。

歳出では、ごみ処理費4億3,064万円(1,168万円減)で令和3年度ごみ処分量実績を反映し減額している。

※焼却灰等の処分費の値上げが行われており、ごみ排出者の分別と焼却ごみ軽量化が引き続き必要とされる。

熊本県後期高齢者医療広域連合議会定例会報告

令和4年2月9日(開会)

熊本県後期高齢者医療連合議会議員／堀田 直孝

令和4年第1回熊本県後期高齢者医療広域連合議会定例会が開催された。本議会では、議案第1号から第6号まで上程審議され、全ての議案について採決の結果、賛成多数で可決された。主なものは次のとおりである。

令和4年度熊本県後期高齢者医療広域連合一般会計予算……………賛成多数により同意

主な内容：広域連合の運営等に関する経費等に関する経費であり、歳入・歳出予算の総額をそれぞれ2億5,294万5千円とするものである。

前年度と比較して約4,486千円減

令和4年度熊本県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計…賛成多数により同意

主な内容：県下の被保険者の医療給付に係る経費であり、予算の約98.4%が「保険給付」となる。

令和4年度は、被保険者数及び給付費の自然増に伴い

歳入・歳出予算の総額をそれぞれ2,984億6,781万5千円とするものである。

前年度より約56億6692万7千円増

ロシアにおけるウクライナ侵攻に対し強く抗議する!!

ロシアによるウクライナへの侵略行為は、国際社会の秩序を失わせ、世界の平和と安全を著しく脅かし、明らかに国連憲章に違反した暴挙である。民間人を含め多数の犠牲者を出し続けており、一刻も早く武力行使の即時停止とロシア軍の完全な撤退を求める抗議の声を上げる必要があるとの理由で、議員発議として提出され、採択の結果、全員賛成により採択された。

※議員発議とは、村長以外の議員や委員会からの議案を提出すること。





未来に向かって

西原村のチャンス!!

坂本隆文

Chance in Nishihara Village

熊本地震から6年、西原村は創造的復興を行い
あとは総合運動公園の完成を待つばかりとなってきました。

震災後、西原村も随分と変わってきましたが、
これからまたここ数年の間に、

西原村を取り巻く環境が変わってくるのではないかと感じています。
一つが西原村から近い阿蘇くまもと空港の民営化と国内線・国際線の一体化整備です。

阿蘇くまもと空港は九州の中心部に位置し、
海外からのインバウンドや県外からの渡航者で九州各県にアクセスも良く、
ゆっくりと阿蘇や九州を満喫できる等、

国内はもとより世界中から来訪者が増えるのではないかと期待しています。

また、菊陽町に半導体受託生産最大手TSMCが来ますが、
これに関連する工場も周りの町村に多数出来るのではないかと期待され、
西原村も企業誘致に対処出来るよう早急に対策しなければと思います。

周囲に工場が増えれば労働人口も増え自然と住宅地も必要になり
通勤圏内にある西原村でも住宅や、人口が増えてきます。

今のうちから山間部の集落や河原地区、

地震で被害の大きかった6集落等空いている土地や宅地等を
役場が募集している「空き地バンク」に登録して頂きたいと思っております。

また、JR九州の菊陽町三里木駅から空港への新路線案もTSMCが来ることにより再検討され、

この路線が大津町を通り空港に繋がるようになれば、
西原村に近い所で駅が出来ることも可能性としては高いので
村としてもこちらも進めていければと思っています。

この西原村にとって又とないチャンスを手にするためにも
皆様方のご協力をお願いします。





地域おこし協力隊

Community Development Cooperation Team
for Nishihara Village

古閑俊光さん



地域おこし協力隊として、西原村に来て約1年となります。それまでは福岡に居ました。福岡では、インターネットを使った集客業務を行っておりました。その経験を生かし、西原村の魅力も多く発信して行きたいと思えます。

また、これまで沢山の国内観光地にも行ってきました。北は青森の大間町から南は沖縄の与那国島まで。(いつか北海道も行きたいです)人気の観光地から、あまり観光客が行かない離島など、その場所でしか楽しめないこと。偶然の出会いを求めて旅をすることも多かったです。しっかりと目的地やプランを決めて行く旅行。気が向くままに・・・なんとなく方角のみを決めていく旅。いろんな観光・旅行のスタイルがあると思います。ドライブなども1つの観光ではと思います。



取材の様子

西原村で1年を過ごして、まだまだ知られていない場所や商品が多いことに気づきました。長くその場所で生活をしていると、当たり前すぎて気づかないこともあるかと思えます。西原村にある魅力を少しでも多くの方へ知って頂きたいと思い、所属しております西原村観光協会では、チラシ等でのご

案内やインターネット(HPやSNS)を使った発信をしております。

しかし、まだまだ勉強不足で知らないことも多くございます。西原村の歴史や地域ならではのこと、お店についてなど教えて頂きますと嬉しいです。

西原村の魅力は今まで以上に情報発信していきたいと思えます。是非1度西原村観光協会のHPやSNSをご覧ください。

西原村には、多くの魅力あふれるお店・商品・場所があると思えます。皆様と一緒に村を盛り上げて行きたいと思っておりますので、皆様が知っている西原村をSNS等で発信・拡散して頂けると嬉しいです。インターネットはよくわからないと言う方は、お友達、知り合いの方、ご家族などに伝えて頂けるだけでも助かります。「あのお店・場所が良かったよ」「あの場所に素敵な花が咲いていたよ」「今度こんなイベントがあるよ」など。村民全員が観光大使。魅力溢れる村になると思えます。



素敵な桜の木の下で

今後も西原村発展の一翼を担えるよう情報発信をして行きたいと思えます。よろしくお願い致します。

西原村観光協会 TEL096-279-1136

編集後記

西原村総合体育館の落成式も終わり、スポーツ大会や式典、イベントなど多くのご利用をいただき、スポーツ振興、健康づくり、地域活性化へ繋がることを期待しているところです。

しかし、新型コロナウイルスもまだまだ感染者も多くみられ、村民の皆様も不安な日々が続き、それに加え、ロシアによるウクライナ侵攻により、日本もこの様ないろいろな出来事の中、つずつ立ち向かっているかなければいけません。

皆様も精神的に限界に達しながら暮らしていると思えますが、すべての人が以前の様な普通の安定した生活が一日でも早く訪れる事を願います。

文責／小城保弘

広報委員

- 委員長 坂本隆文
- 副委員長 堀田直孝
- 委員 小城保弘
- 委員 高本孝嗣
- 委員 尾崎幸穂

発行責任者

- 議長 山下一義